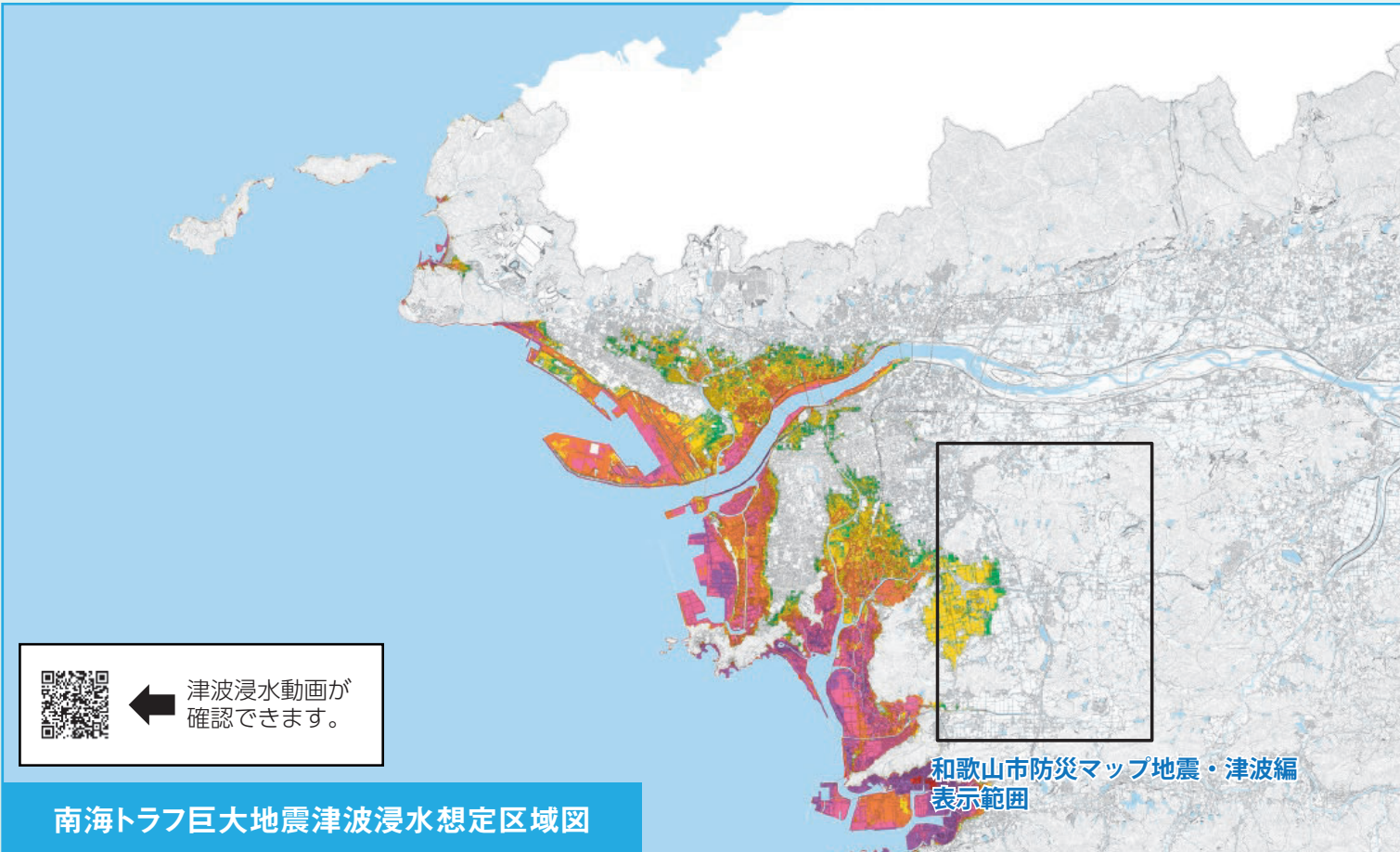


和歌山市防災マップ

地震・津波編 Earthquakes and Tsunamis 地震・海啸篇 지진·쓰나미 편

災害はいつ発生するかわかりません！ You never know when a disaster will occur!
灾难何时发生,是无法预计的! 재해는 언제 발생할지 모릅니다!



自宅の安全性を高める

Improving home safety
提高自己的家的安全性 자택의 안전성을 높인다

■住まいの耐震化

一あなたの住まいは本当に大丈夫ですかー

もし、大地震が起きても家族の命や財産を守るよう、そして、地震発生後もわが家での暮らしを維持できるよう、あらかじめ耐震診断により建物の安全性を確認するとともに、必要に応じた耐震改修を行っておくことは、地震による被害を減らすための、有効かつ効果的な取組です。

■耐震金具を利用しましょう

◎**転倒防止金具**
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、天井などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

◎**重ね留め用金具**
重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

◎**扉・引き出し開放防止金具**
地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけるとう安心です。

■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒を防止するための板などを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。
- 就寝場所に家具が倒れてこないように、配置の工夫を。

地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていませんか？

■ガラスの飛散防止を

- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

手近な取り出しやすい所に運動靴などを用意しておく、災害時の足のケガを防止できます。

非常持ち出し品・非常備蓄品チェック表

Check Sheet for Evacuation Items and Emergency Supplies
应急携带品・应急储备的检查表 비상 반출품 비상 비축품 체크표

避難するときに最初に持ち出すのが「非常持ち出し品」。
災害直後から混乱が収まるまでの数日間、自給自足するための物資が「非常備蓄品」です。
以下は一例です。特に非常持ち出し品は、持って逃げられる量にしましょう。(男性15kg 女性10kgが目安)

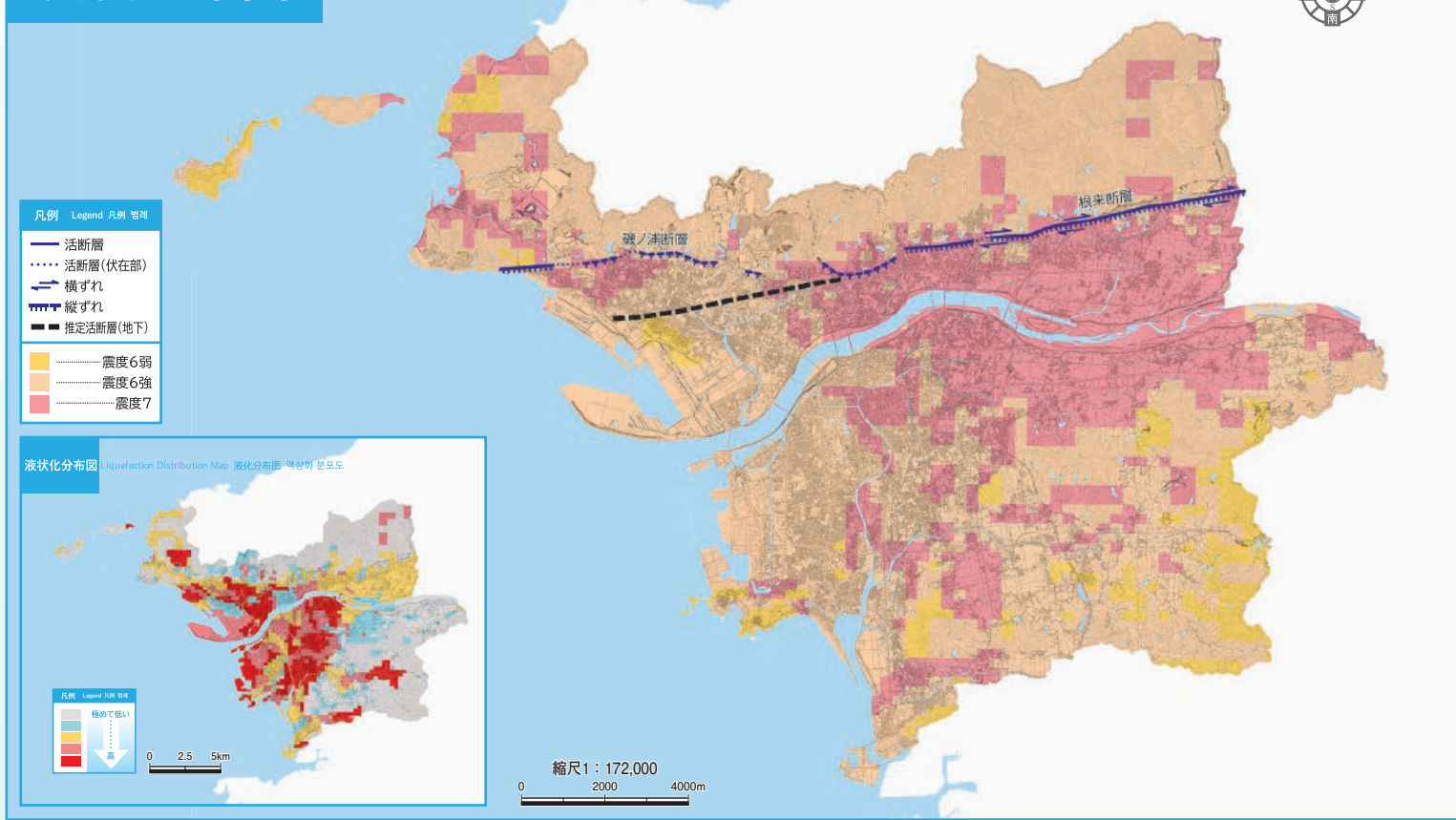
非常持ち出し品

●とっさの場合に持ち出せるようにリュックサックにつめておきましょう。

貴重品 ☐ 現金 ※公衆電話用に硬貨も ☐ 印鑑 ☐ 家や車の予備鍵 ☐ 証書類のコピー (健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など)	情報収集用品 ☐ 携帯ラジオ ※予備電池も ☐ 携帯電話(スマートフォン)の充電器 ☐ 筆記用具	非常飲食品 ☐ 非常食 ☐ 飲料水 ※1人1日10
衛生用品 ☐ 救急セット ※常備薬も ☐ タオル ☐ トイレットペーパー ☐ ビニール袋 ☐ 下着類 ☐ トイレ凝固剤	日用品 ☐ 懐中電灯 ※予備電池も ☐ ヘルメット・防災ずきん ☐ 軍手 ☐ スリッパ ☐ 笛やブザー ※居場所を知らせるもの ☐ マッチ・ライター ☐ 万能ナイフ ☐ 毛布・保温シート ☐ 飛び捨てカイロ	非常備蓄品 ☐ 非常食 ☐ 飲料水 ※1人1日30 ☐ 毛布 ☐ 簡易トイレ ☐ カセットコンロ・ガスボンベ

上記リストを参考に、特に乳幼児用品、高齢者用品等、災害時に配慮すべき方の用品も、家族構成に合わせて追加しましょう。

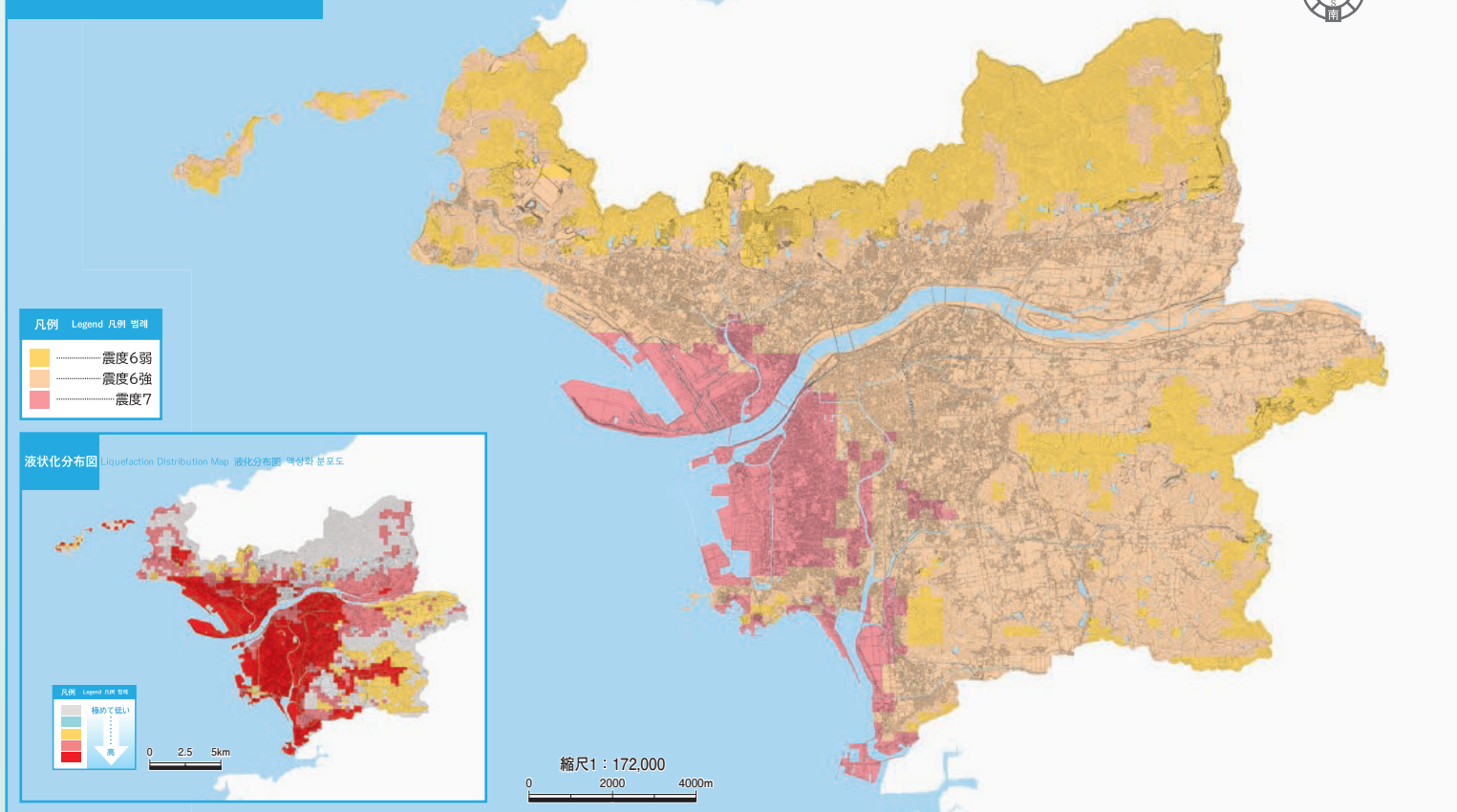
震度分布図 Seismic Intensity Map 震級分布图 진도 분포도



南海トラフの巨大地震(海溝型地震)

Massive Nankai Trough Earthquake (Subduction-Zone Earthquake) 南海海槽大地震 (海沟型地震) 난카이 트로프 거대지진(해구형 지진)

震度分布図 Seismic Intensity Map 震級分布图 진도 분포도



自助・共助・公助の役割の明確化

Distinguishing between self-help, cooperation, and public assistance
明确自助、互助、公益的作用 자조, 공조, 공공기관 원조의 명확화

地域の防災力の充実及び強化は、市民・地域・行政それぞれの役割を明らかにし、災害が起こったときに互いに協力し、被害を最小限にする「自助」・「共助」・「公助」を基本とします。

自助

自分の安全は自分で守る

共助

お互いに助け合って守る

公助

行政が市民等を守る

地域の防災力を高めよう

和歌山市みんなでとりくむ 災害対策基本条例

和歌山市では、災害対策の確立を図り、市民等の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的とした、「和歌山市みんなでとりくむ災害対策基本条例」が制定されています。

普段からの備え

Everyday preparation
平时的准备 평소부터 준비

ハザードマップを確認しておきましょう。	防災訓練や講習会に参加しましょう。
避難場所、避難経路、連絡方法を確認しておきましょう。	非常持ち出し品をチェックしましょう。
情報収集方法を確認しておきましょう。	住宅の安全確認をしましょう。

ペットと同行避難ができます。

You can evacuate with your pet
您可以带您的宠物一起避难 애완동물과 함께 피난할 수 있습니다.

災害発生時に和歌山市が開設する指定避難所へは、ペットを連れて避難することができます。
災害時にペットと一緒に避難できるように日ごろから準備しておきましょう。

要配慮者への留意事項

Points of Attention for Persons Requiring Consideration
对需要照顾者的注意事项 배려자에게 필요한 주의사항

■高齢者や寝たきりの方

- ・あらかじめ災害時の支援者をきめておき、複数人で対応できるようにしましょう。
- ・車いすや担架をつかうほか、緊急時にはおぶって避難しましょう。

■耳の不自由な方

- ・正面から口を大きく動かして話しかけるようにしましょう。
- ・口頭で伝わりにくいときは、身振り手振りや筆談で正確な情報を伝えましょう。

■目の不自由な方

- ・まず、「お手伝いしましょうか」と声をかけましょう。
- ・誘導する際は、腕を貸してゆっくりと歩きましょう。

■病气やけがをしている方

- ・程度に応じて、声をかける、肩を貸す、手を添えるなどの援助をしましょう。

■車いすを利用している方

- ・階段では2人以上で援助し、上りは前向き、下りは後ろ向きで移動しましょう。
- ・支援者が1人の場合は、おぶって避難しましょう。

■日本語が十分でない外国人

- ・孤立しないよう、日本語でもいいので声をかけましょう。
- ・言葉が通じない場合は、ジェスチャーで伝えましょう。

地震・津波に関する啓発記事

風水害に関する啓発記事